



包括だより 大迫版

2月

おおはさまの小窓



小窓①

大迫地域福祉関係職員連絡会議が開催されました

1月14日、大迫保健福祉センターにて、福祉関係職員連絡会議が開催されました。第4回目である今回の会議では20名の方に出席いただき、各事業所の利用状況についての情報交換や勉強会を行いました。

勉強会では「医療と介護の連携」をテーマに、施設での看取りについて理解を深めました。総合花巻病院訪問看護ステーション鎌田さんからは「施設スタッフへの支援」について、小規模多機能ホームぶんどかんど佐々木ホーム長さんからは、ぶんどかんどで看取りを行った時の経験についてお話し頂きました。当初、施設で看取りを行うことについて「自分の勤務の日には何かあったら…という不安感を持っている職員も多かった」とのことでしたが、「医療の適切な支援を受けることが出来れば、施設での看取りは可能だと思いました。こっぼらさんとの出会いに感謝しています」とのお話がありました。

その後のグループワークでは、参加者それぞれが感じている「死」についてのイメージや思い、また、「医療と介護の連携」について、活発に意見が交わされ、充実した時間を持つことが出来ました。今後も、今まで築いてきたネットワークを大切に、地域のみなさんと歩んでいけたらと思います。



認知症サポーター養成講座を開催しませんか

小窓②

①認知症サポーターってなに？

認知症サポーターは、「なにか特別なこと」をする人ではありません。正しい知識を持ち、認知症に偏見を持たず、認知症の人や家族に対して温かい目で見守る「応援者」です。

②どのような講座？

一時間程度の講座で、認知症の基礎知識や対応方法、サポーターとしてできる事などを学びます。講座の対象者によって、内容が若干変わることがあります。

③講座を開くにはどうすればいいの？

包括支援センターへご連絡ください。講座開催にあたっての質問もお気軽にどうぞ！

